
鬱蒼と茂ったシガラミの中

浮魚塩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鬱蒼と茂ったシガラミの中

【Nコード】

N9808P

【作者名】

浮魚塩

【あらすじ】

どうしようか。どうなるのか。どうしたいのか。どうなりたいのか。どうありたいのか。どうしたらいいのか。

（前書き）

なんじゃこりゃ。

落ち込んだときの気持ちをそのまま書き出してみるとなんとイマイものに。

でも書けたから投稿してみるよ。

まあ、こういったものは需要無いと思うけどね。

もし自分が死んだら人はなんて思うだろう。

自殺なら。

人は嘆くだろうか。

哀れむだろうか。

怒るだろうか。

嘲笑^{わら}うだろうか。

事故なら。

人は悲しむだろうか。

運がなかったと片付けられるだろうか。

残念がるだろうか。

喜ぶだろうか。

事件なら。

人は憎しみを覚えるだろうか。

悲劇を訴えるだろうか。

真相を突き止めてくれるだろうか。

見向きもされないだろうか。

死んだなら。

自分はどこへいくのだろうか。

消えてしまうのだろうか。

忘れられてしまうのだろうか。

過去形で語ってもらえるだろうか。

考えるほど解らなくなる。

暗い渦に飲み込まれて左右も上下も解らなくなる。
それが怖い。

何もない自分を感じるから。
意味の無い自分が見えるから。

タオルで首を絞めてみた。

ギリギリと。

強く。

呼吸がおかしくなった。

血液の流れが止まっているのがわかる。

繋がっていた何かが途切れていく気がする。

景色が理解できなくなる。

音の意味が解らなくなる。

黒に吞まれていく。

苦しくはない。

けれど怖い。

だから絞めるのをやめた。

戻ってくる。

無いところから在るところに。

感覚一つ一つがまた繋がっていく。

それらを確認するように体を動かし、耳を澄ます。

景色に理解を示せる。

音に意味を感じられる。

呼吸が落ち着いてくる。

生きていると実感する。

生きていることが怖くなる。

だから繰り返した。
何度も。

生きているその確証が欲しくて。
その恐怖から逃れたくて。

（後書き）

もっと楽しげなものがいいよね。
自分的にも、読者のにも。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9808p/>

鬱蒼と茂ったシガラミの中

2011年1月9日06時30分発行